



イスラエル・パレスチナの青年たちは思っていたより会話が好きで、とても明るかった事は良かったと思います。

伊東ファミリーでお世話になった二人と共にユーリとシャディーを富士山方面へのドライブに参加させて頂きました。今風の若者そのもので何にでも感激していました。富士山の守神である富士浅間神社では社殿はもとよりお守札に大層興味を示していました。

帰宅後の夕食では料理の事で異国の違いや自分の国の日常の生活を話してくれ、国同士の争いはあるが、それぞれの人同士には争いはないと言う。

食後は孫たちとボーリングを楽しんできたようです。この度、小金井市が世界の平和事業の一端を担えたことは素晴らしいと思います。

富士急ハイランドのFUJIYAMAというジェットコースターに乗りました。乗ったことがなかったらしく子供たちは大喜び。

富士山五合目の景色のよい場所へ。忍野八海を散策。昼食はほうとう。かぼちゃはイスラエル・パレスチナでもメジャーな野菜で小さい頃からいつも食べているらしくあまり食べませんでした。

イスラエルの子はおばあちゃんをパレスチナ人に殺され、パレスチナの子はお父さんをイスラエル人に殺されている、ということで両者お互いに思いがあった。が、こうして仲良く話ができるようになり、“お互い大人になってから戦場では会いたくないよね”、と話していました。両国とも国へ帰ればまもなく入隊とのこと、この子達にとって今この時はつかの間の幸せな時間なのか、と胸つまされる思いがしました。

